


学習指導改善調査 実践モニター 実施計画書

<h3>私のプロフィール</h3>		
氏名	畑 智	
勤務先	新潟市立新潟小学校	
○担当学年・実践教科 5年 国語		

★取組の方向

私の教育理念	<p>「国語を好きな子供が、増えてほしい」という願いをもっています。</p> <p>そのため、国語科を中心に実践を行ってきました。一部の子供は確かに国語が好きになりました。しかし、すべての子供が好きになったわけではありません。</p> <p>教科を好きになるためには、その教科ができることが大切です。分からなければなりません。熱意も大事ですが、その前に、「何を、どのように指導するのか」という点を具体的にし、子供に学習内容の確実な定着を促さなければなりません。</p> <p>今回の学習指導改善調査を受けて、「何を、どのように指導するのか」という点を明らかにし、指導の改善に生かしていきたいと思えます。</p>
学級の実態	<p>H19年度学習指導改善調査の結果、学級平均は、国語 72.2 算数 59.9 でした。</p> <p>国語科の内容を見ると、領域の『資料分析』は決して悪くありませんが、『記述問題』において、通過率に差が出ています。評価項目を見ると、「文字数」「立場」「資料活用」「段落」においては、通過率が 70%を越えています。特に「文字数」や「段落」が高い数値を示しており、形式に沿った書き方ができるようになっていることがわかります。</p> <p>しかし、「根拠」では、通過率が 50%台と低調です。その内訳を見ると、無答率が 30%を超えています。このことから、答え方を知らない、資料を意識して意見を述べていないことがうかがえます。そして、これは、「資料を根拠とし、説得力のある意見を述べる」という考え方を子供たちに十分に指導してこなかったことが原因と考えられます。</p>
今後の指導の方向	<p>前述した「資料を根拠とし、説得力のある意見を述べる」を課題とし、授業改善が図られるように実践を行います。以下の3点を中心に行いたいと思えます。</p> <p>①朝のスピーチは、ディベート形式にし、自分の意見に理由を付けて言えるようにします。</p> <p>二者択一のお題から、自分はなぜ一方を選択したのか、意見を述べます。ゲーム感覚で行いますが、その中で、説得力のある意見を述べるための理由探しが大切と考えます。</p> <p>②文章だけでなく、図やグラフなどの資料を合わせて読み取る場を設定します。</p> <p>課題である「資料を根拠とし…」は、その前段として、資料の有効性が読み取れなければなりません。複数の資料の中から、自分の意見に有効な資料を選び取り、そこから情報を読み取る力が必要となります。</p> <p>主に説明的文章の学習において、意図的に他の資料を合わせて読み取る場を設定していくことにより、自分の意見に有効な資料を選び取る力を高めていきたいと思えます。</p> <p>③資料を用いて、意見文を書かせます。</p> <p>いくつかの資料を選択し、それについて意見文を書かせます。実際に書いていく中で、資料を用いて意見を述べるという方法をつかませていきます。今後は、「工夫して発信しよう」(光村)で実践を行う予定です。</p>